

第13回 創作市民劇

嘉数上又山

カ カジ イー ヌ ヤマ

2月28日(日)、創作市民劇「嘉数上又山」が市民会館大ホールで上演されました。
今年で13回目を迎える市民劇。
明治三十七年、沖繩は大干魃に遭い、人々は水飢饉に陥りました。神童と呼ばれた娘が「嘉数上又山」の神の託宣を聞き村人を救うという内容で、総勢72人の区民・市民が熱演しました。



①・②子供たちはハーメーの話すキジムナーの怖い話が大好き。

③「夫を兵隊に取られるのは貴女だけじゃないんだよ」と説得をする父マチャー。

④イリチリーの場。
借金が故に離れ離れで暮らすことを余儀なくされる親子。

⑤カミジューのハヤシに併せ出水口を掘る村人たち。
「国頭サバクイ〜・ヨイシーヨイシー」

⑥三宮の大和紡績工場の宿場。
ウサ小は琉球人と呼ばれ虐めを受ける。

⑦大早魃に遭い水飢饉に陥った村人たちは、神童ウサ小の言うとおりにハヤシの根元を掘り出水口を掘り当てる。

⑧フィナーレの六月ウマチー。
嘉友会の皆さんに担がれ入場する大綱。

